

防災科学技術研究所 2023年度 土砂災害予測に関する研究集会のご案内

大正関東地震による土砂災害を振り返る —震災100周年を迎えて—

趣旨

防災科学技術研究所では、全国各地で起きる土砂災害の被害軽減に資するため、2015年度より「土砂災害の予測に関する研究集会」を幅広い専門家を結集して様々なテーマで開催してきた。今年2023年は関東大震災が起きてから100年目にあたることから「大正関東地震による土砂災害を振り返る—震災100周年を迎えて—」というテーマでの開催を企画した。

1923（大正12）年9月1日に発生した大正関東地震は、10万人を超える死者を出すわが国でも最大級の地震災害であり、特に関東地震の震源域に相当する神奈川県を中心に各種の土砂災害により、1000名規模の人的被害を生じている。そういった土砂災害の被害の実態を再認識することは、今後、発生が予想される南海トラフ巨大地震や首都圏直下型地震による土砂災害の発生を予測する上で大いに参考になると考えられる。

土砂災害に関わる多くの方々に視聴していただくことで、本研究集会が今後の地震による土砂災害防災にとって有意義なものとなることを期待したい。

主催	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
共催	日本応用地質学会 災害地質研究部会
後援	日本地すべり学会・砂防学会・日本応用地質学会・斜面防災対策技術協会
開催日時	2023年12月8日（金）10:00～17:30
開催方式	Zoom会議によるオンライン形式
発表形式	特別講演・基調講演・招待発表・総合討論
参加申込方法	下記参加申込フォームにご記入ください URL： https://forms.gle/beDCinS4WN5woyrY8 申込〆切：2023年12月1日（金）
参加費	無料（要 参加申込）
CPD	実施

ご不明な点等ございましたら

研究集会事務局（jisuberi@bosai.go.jp）までお問い合わせください。

2023 年度土砂災害予測に関する研究集会 プログラム

大正関東地震による土砂災害を振り返る — 震災 100 周年を迎えて —

12月8日（金）10:00~17:30

10:00~10:15	開会挨拶・趣旨説明	防災科学技術研究所	
10:15~10:40	【特別講演】大正関東地震とマルチハザードリスク評価	防災科学技術研究所	前田宜浩
基調講演			
10:50~11:50	関東大震災による土砂災害とその分布特性	砂防フロンティア整備推進機構	井上公夫
11:50~13:00	昼休憩		
招待発表			
13:00~13:20	関東地震の背景となるプレート構造と地質・地盤	深田地質研究所	木村克己
13:20~13:40	1923 年関東地震によるもう一つの土砂災害 – 液状化被害 –	関東学院大学	若松加寿江
13:40~14:00	複合災害としての関東大震災 – 1923 年の気象状況との関連 –	関東学院中学校高等学校	相原延光
休憩			
14:10~14:30	元禄・大正関東地震と山津波災害	防災地理調査	今村隆正
14:30~14:50	1923 年大正関東地震による根府川の土砂災害	京都大学名誉教授	釜井俊孝
14:50~15:10	関東地震による震生湖地すべり, および類似の地震時テフラ地すべり	深田地質研究所	千木良雅弘
休憩			
15:20~15:40	丹沢山地・箱根火山地域における斜面崩壊の分布と特徴	防災科学技術研究所	佐藤昌人
15:40~16:00	大正関東大震災時のリスク評価から見る現状の自然災害リスク	東京都市大	伊藤和也
16:00~16:20	関東地震の土砂災害に関わる災害伝承碑について	日本応用地質学会災害地質 研究部会（八州・国際航業・ バスコ）	千田敬二・ 西村智博・ 下村博之
休憩			
16:30~17:20	総合討論 司会：稲垣秀輝（環境地質）		
17:20~17:30	閉会挨拶	防災科学技術研究所	